

高山村誌 歴史編 目次

口 絵

刊行のことば

緒 言

例 言

序章 高山村の風土と歴史—総説

一 歴史の舞台としての風土…………… 3

二 高山村の歩んだ歴史…………… 5

三 高山村の村勢…………… 9

I 高山地域のあけぼの—原始

一 旧石器時代

1 旧石器時代の自然とくらし…………… 13

(1) 旧石器時代の自然 (2) 狩猟のくらし

2 高山地域の旧石器時代遺跡…………… 18

(1) 遺跡の広がり (2) 高山村の旧石器時代遺跡

二 縄文時代

1 一万年の歴史をもつ湯倉洞窟…………… 23

(1) 山岳地帯の洞窟 (2) 黎明期のくらし

(3) 前 中期のくらし (4) 後 晩期のくらし

2 縄文集落の広がりとかくらし…………… 41

II 科野国の成立と高位—古代

一 古墳時代

1 湯倉洞窟最後の狩猟集団…………… 77

2 古墳時代の幕開け…………… 79

(1) 外来系土器と古墳の出現 (2) 上高井地方の盛土古墳

3 積石塚古墳と被葬者…………… 84

(1) 上高井地方の積石塚古墳 (2) 山田地区の積石塚古墳

(3) 高井地区の積石塚古墳 (4) 積石塚古墳の被葬者

4 古墳を築いた人びとの集落…………… 94

(1) 古墳時代の住居 (2) 扇端部の集落

二 奈良・平安時代

1 奈良 平安時代の集落と高井郡の郷…………… 99

(1) 高山地域の縄文遺跡 (2) 縄文早期の黒部遺跡

3 八幡添遺跡の繁栄とかくらし…………… 46

(1) 縄文集落の拡大 (2) 八幡添遺跡の敷石住居集落

(3) 八幡添遺跡の中期縄文土器 (4) 狩猟と採集の道具

4 縄文集落の衰退…………… 59

(1) 配石のある坪井遺跡 (2) 墓と呪術

三 弥生時代

1 弥生時代の湯倉洞窟…………… 68

(1) 弥生土器 (2) 狩猟の道具 (3) 山住みの狩猟集団

2 稲作農業の広がり…………… 71

(1) 高山村の弥生遺跡 (2) 里住みのくらし

(3) 山住みと里住みの交流

III 争乱に生きた領主と領民——中世

一 中世前期の領主と領民

- 1 高山村域の古代集落 (2) 高井郡の郷
- 2 高井郡の牧・式内社・古寺……………106
- 3 湯倉洞窟の消長……………109
- 1 武士政権の誕生と北信濃の武士団……………115
- 2 武士団の形成と保元 平治の乱
- 3 高梨氏 井上氏と源平の争乱
- 4 鎌倉幕府と高梨氏・須田氏 (4) 高梨衆中評議と一族結台
- 5 移りゆく高井・山田と人びとの生活……………124
- 6 牧から郷へ (2) 上高井地域の中世行政区画
- 7 高梨氏からでた高僧
- 8 鎌倉幕府滅亡と北信濃武士団の成長……………135
- 9 南北朝内乱と高井・山田 (2) 大塔台戦
- 10 躍進する高梨氏
- 11 戦国有力武士高梨氏・須田氏の発展……………143
- 12 北信濃と関東の争乱 (2) 在地武士のあらそい
- 13 北信濃の武士と越後 信濃の乱
- 14 川中島合戦にゆれる高井・山田……………150
- 15 武田氏の侵攻と高梨氏・須田氏 (2) 武田氏の支配
- 16 武田氏の滅亡と上杉氏の北信濃進出 (4) 上杉氏の支配
- 17 領主の生活と祈り……………166

IV 江戸時代の村と村民——近世

一 近世の支配と村

三 村・寺社の成立と伝承

- 1 京にあこがれる高梨氏 (2) 領主たちの祈り
- 2 集落とくらし (2) 用水と開発……………177
- 3 人びとの信仰……………201
- 4 寺院の成立と伝承 遺物 (2) 神社の成立と伝承物
- 5 城館の様相……………209
- 6 城館跡の分布 (2) 松川左岸の明覚山地の城塞群
- 7 松川右岸の雁田山地の城館群
- 8 関東口と白根山系の城塞
- 9 近世の支配と村……………233
- 10 豊臣から徳川へ……………238
- 11 福島正則領と福島正利知行所……………247
- 12 前期幕府領と甲府徳川領……………254
- 13 中・後期幕府領と椎谷領 浜田領……………262
- 14 村の用水と新田の開発……………270
- 15 松川右岸の開発と用水……………281
- 16 黒部の開発と用水……………287
- 17 松川左岸扇状地の開発……………292
- 18 新田開発と小百姓の自立……………292
- 19 小百姓の自立と新田開発……………292
- 20 入会山と御林……………292

1 村の生産 生活と林野……………295

2 村中入会……………300

3 村々入会……………306

4 御 林……………316

四 農業・諸産業と商品流通

1 稲作と畑作……………323

2 農 事 暦……………329

3 商品作物と養蚕……………335

4 諸営業・諸稼ぎ……………339

(1) 酒 造 業 (2) 諸営業 諸稼ぎ……………355

5 村外への道と村のなかの道……………355

(1) 村外と結ぶ道 (2) 村のなかの道……………370

五 山田温泉の開発と発展

1 元湯での推移……………370

(1) 三カ村入会山の元湯 (2) 運上湯の成立……………374

2 牛窪への引き湯……………374

(1) 引き湯願い人と先願い人の対立 和談……………387

(2) 引き湯年季普請の難航 (3) 年季湯から永湯へ……………387

3 松川湯の発展……………387

(1) 松川湯の繁昌 (2) 元湯埋没と復興……………391

六 村の信仰と文化

1 寺と檀家……………391

2 村々の神社……………397

3 講の広がりと民俗信仰……………409

4 学問と芸能……………416

5 高山の俳諧……………426

(1) 雑俳から蕉風俳諧へ (2) 一茶ゆかりの里高山……………444

七 村民のくらし

1 村役人と村民……………444

2 被差別部落の形成……………458

3 災害・飢饉と村民……………465

4 地主と小作……………473

5 村方騒動と村の改革……………479

6 くらしの高まり……………494

7 幕末・維新期の村……………506

V 世界に開かれた社会経済——近代

一 明治維新时期

1 高井野の維新変革……………513

(1) 伊那県から中野県へ (2) 維新改革と民衆生活……………520

2 世直し一揆 中野騒動……………520

(1) 中野騒動の勃発 (2) 中野騒動の経過……………530

(3) 中野騒動の結果……………530

3 地方行政の基盤整備……………530

(1) 戸籍区と大区小区制 (2) 郡役所と連合戸長役場……………541

(3) 戸籍の編成と解放令……………541

4 村政と地租改正……………541

(1) 村政のしくみ	(2) 地租改正と村民の生活	
(3) 日影山山論と村民		
5 産業の振興と開発		561
(1) 農林業中心の村	(2) 山仕事に依存する農家	
(3) 太田堰の開発と挫折		
6 交通 郵便 銀行と警察		575
(1) 交通制度の整備	(2) 郵便取扱所	
(3) 銀行	(4) 警察制度	
7 学校の設立		582
(1) 郷学校の設立の動きと廃止		
(2) 近代教育の始まりから確立期へ		
8 災害と疫病		590
(1) 疫病と災害	(2) 奥山田の火災	
二 明治後期・大正時代		
1 高井村・山田村の発足		597
(1) 町村制の施行	(2) 選挙と議会	
(4) 伝染病とその対策	(5) 消防組	
(3) 村の行財政		
2 交通と地域経済		616
(1) 県道郡道の新道開さく	(2) 橋梁の架設	
(3) 駄賃稼ぎと馬車 自動車の普及	(4) 山田温泉の繁盛	
3 戦争とくらし		631
(1) 徴兵制度	(2) 日清戦争	
(3) 日露戦争	(4) 第一次世界大戦のころ	
4 農林業の発展		642
(1) 養蚕と稲作	(2) 新しい林業へ	

(3) 森林保護と薪炭業	(4) 畜産	
(5) 副業と換金作物の導入	(6) 勸業会・農業会・産業組合	
5 近代硫黄鉱山の開発		666
6 教育と文化		673
(1) 尋常小学校	(2) 青年婦人教育の組織化	
(3) 俳壇などによる建碑		
(4) 山田温泉を訪れた近代の文人墨客		
(5) 大正 昭和前期の解放運動		
三 昭和の戦前期		
1 深刻化する農村不況		708
(1) 養蚕農家を直撃した凍霜害	(2) 昭和恐慌下の農村	
(3) 不況下できびしい村財政	(4) 農村経済更正運動の展開	
(5) 不況下のくらしと教育	(6) 近代鉱山経営の発展	
2 戦時体制化のくらし		738
(1) 満州事変から日中戦争へ	(2) 大政翼賛運動と村民生活	
(3) 戦時下の教育	(4) 太平洋戦争と耐乏生活	
付 年表索引・時代区分表		775
史料 写真など提供者一覧		777
歴史編専門部会 調査執筆員		778
執筆分担		779
刊行委員会		780
地区協力員		782
事務局 編纂室職員		783
索引		788
あとがき		789